



国際経済・金融安定の維持： IMFの貢献と必要とする人材

大阪大学

2012年11月22日

石井詳悟

IMFアジア太平洋地域事務所所長



概要

ユーロ圏危機と回復に手間取る世界経済

景気後退要因

深刻な下振れリスク

何をすべきか？

IMFの役割と危機への対応

IMFでの雇用機会

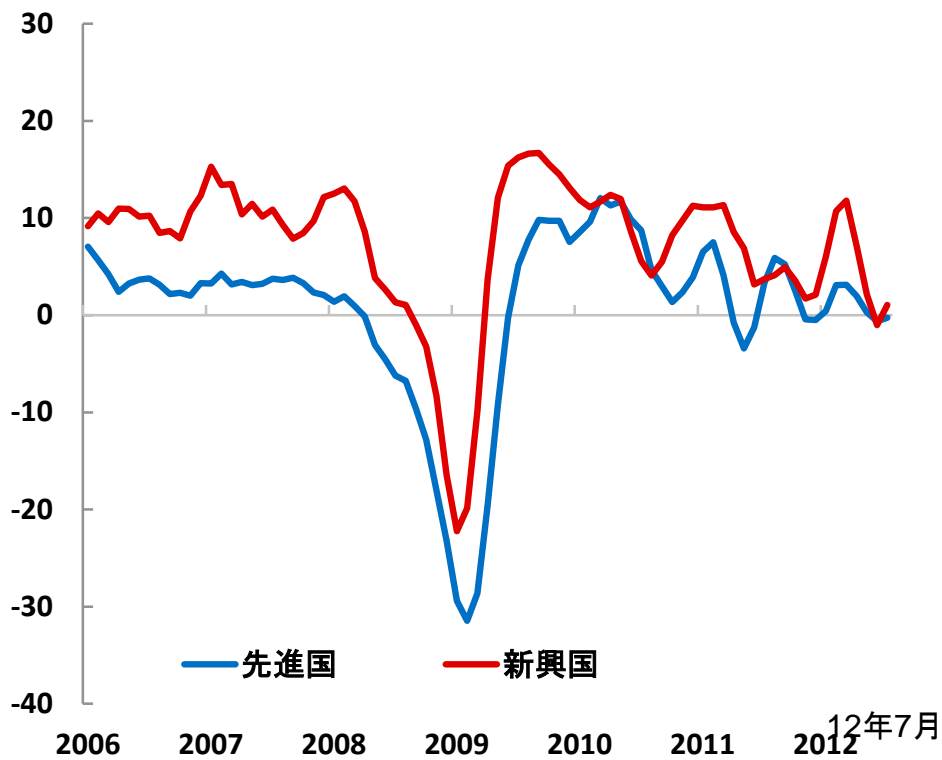


ユーロ圏危機と 回復に手間取る世界経済

新たに直面する景気後退

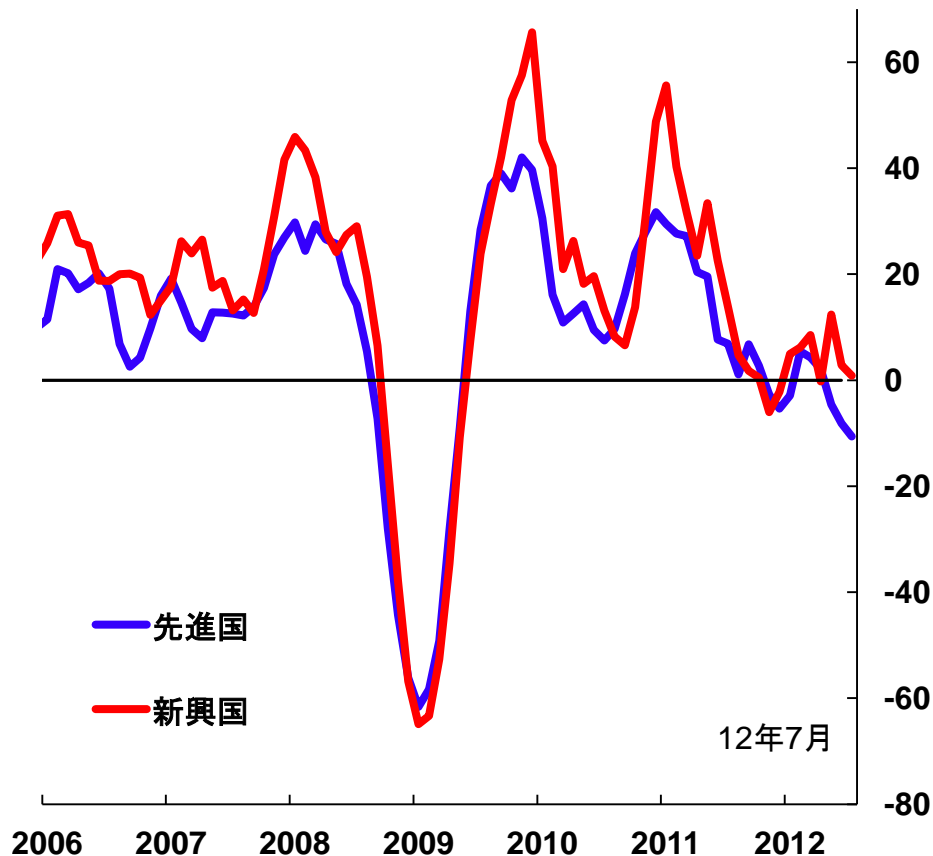
世界の鉱工業生産

(パーセント, 年率, 季節調整済み3ヶ月移動平均)



商品輸出

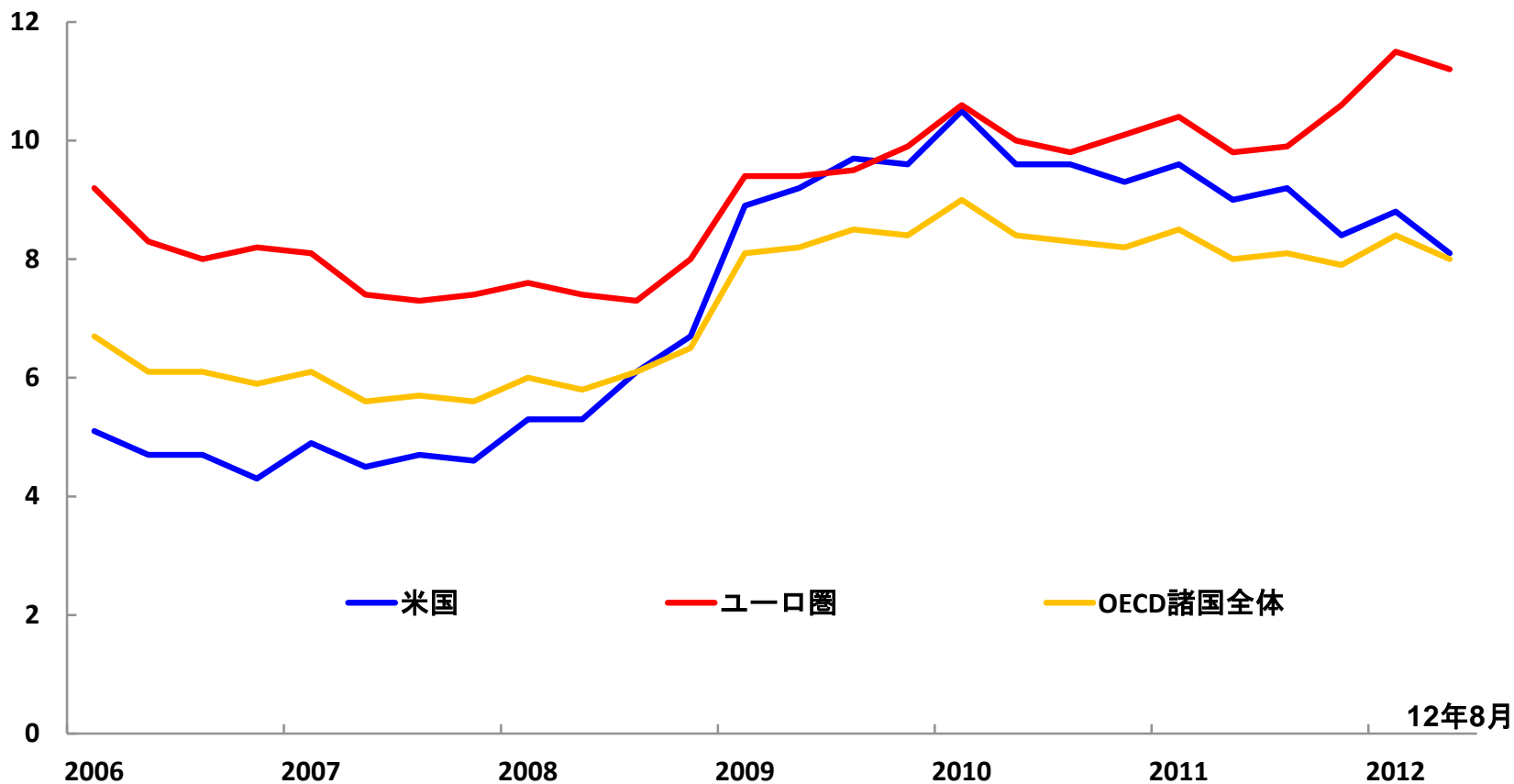
(パーセント, 年率, 季節調整済み3ヶ月移動平均)



出所: IMF世界経済見通し

失業率はユーロ圏では急上昇し、 他の先進国でも高止まり

先進国における失業率
(パーセント)



Source: OECD

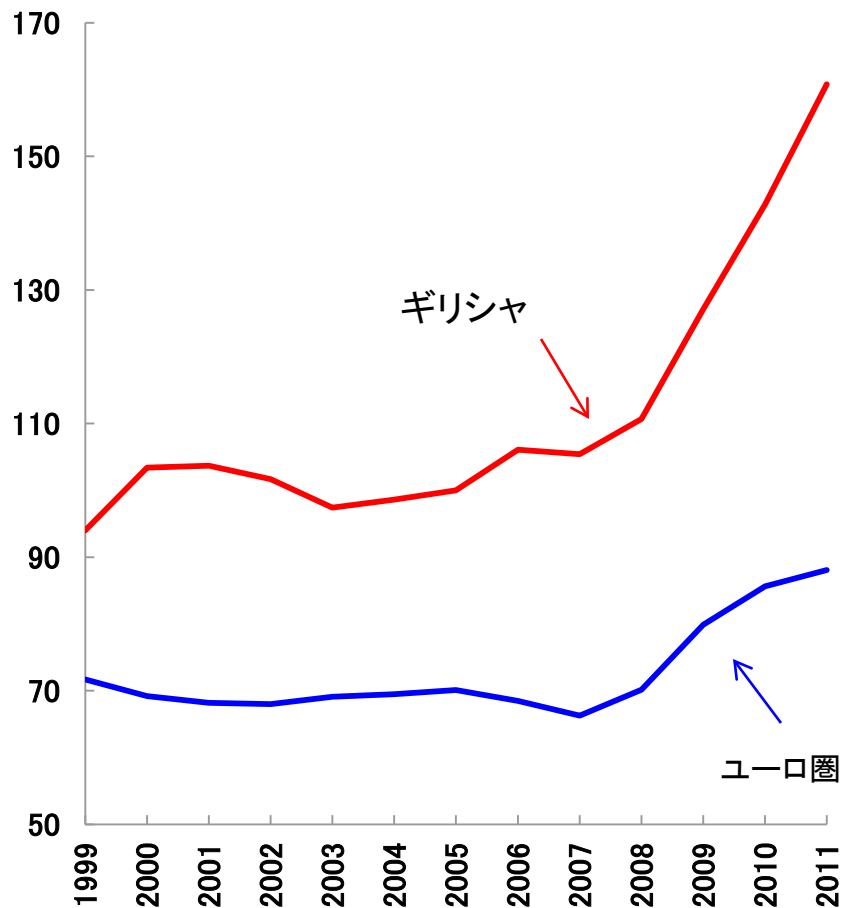


景氣後退要因

ユーロ圏：深刻な公的債務・財政赤字

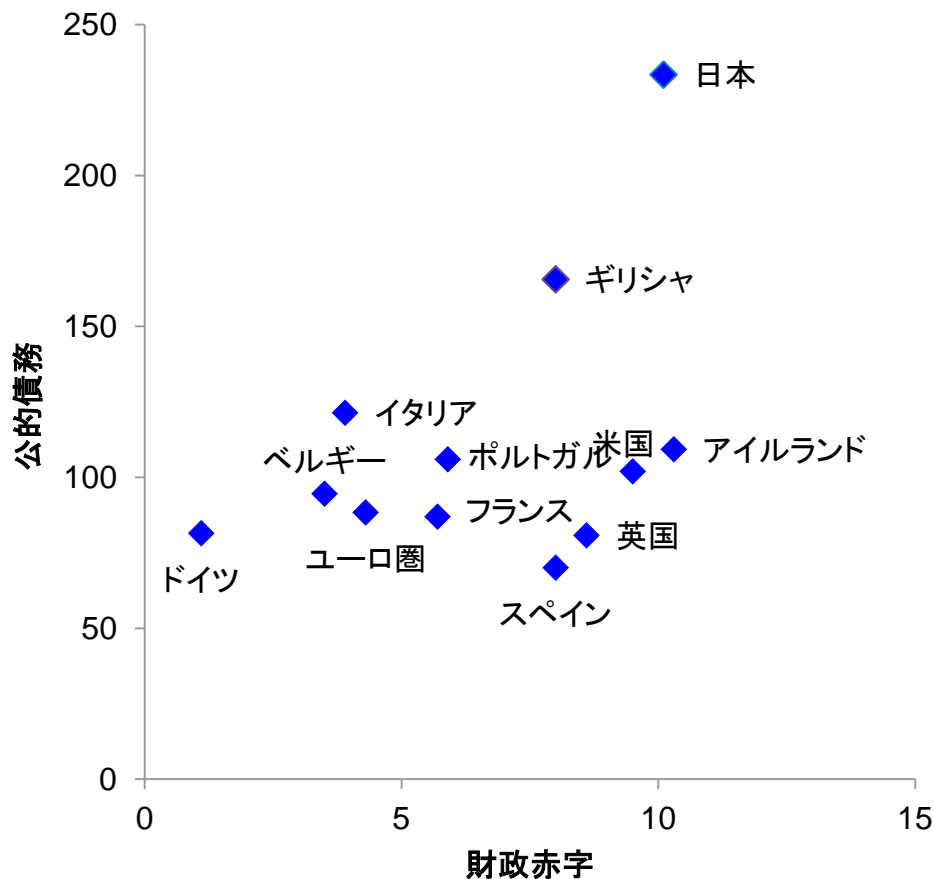
公的債務残高

(対GDP比、パーセント)



財政赤字・公的債務残高

(2011年対GDP比、パーセント)



ユーロ圏：景気、財政、金融の悪循環

景気後退・失業増加



財政刺激策の
余地の減少

銀行貸出減少

財政収入減少

銀行資産の
質の低下

弱体化

財政収支悪化



政府保証
資本注入

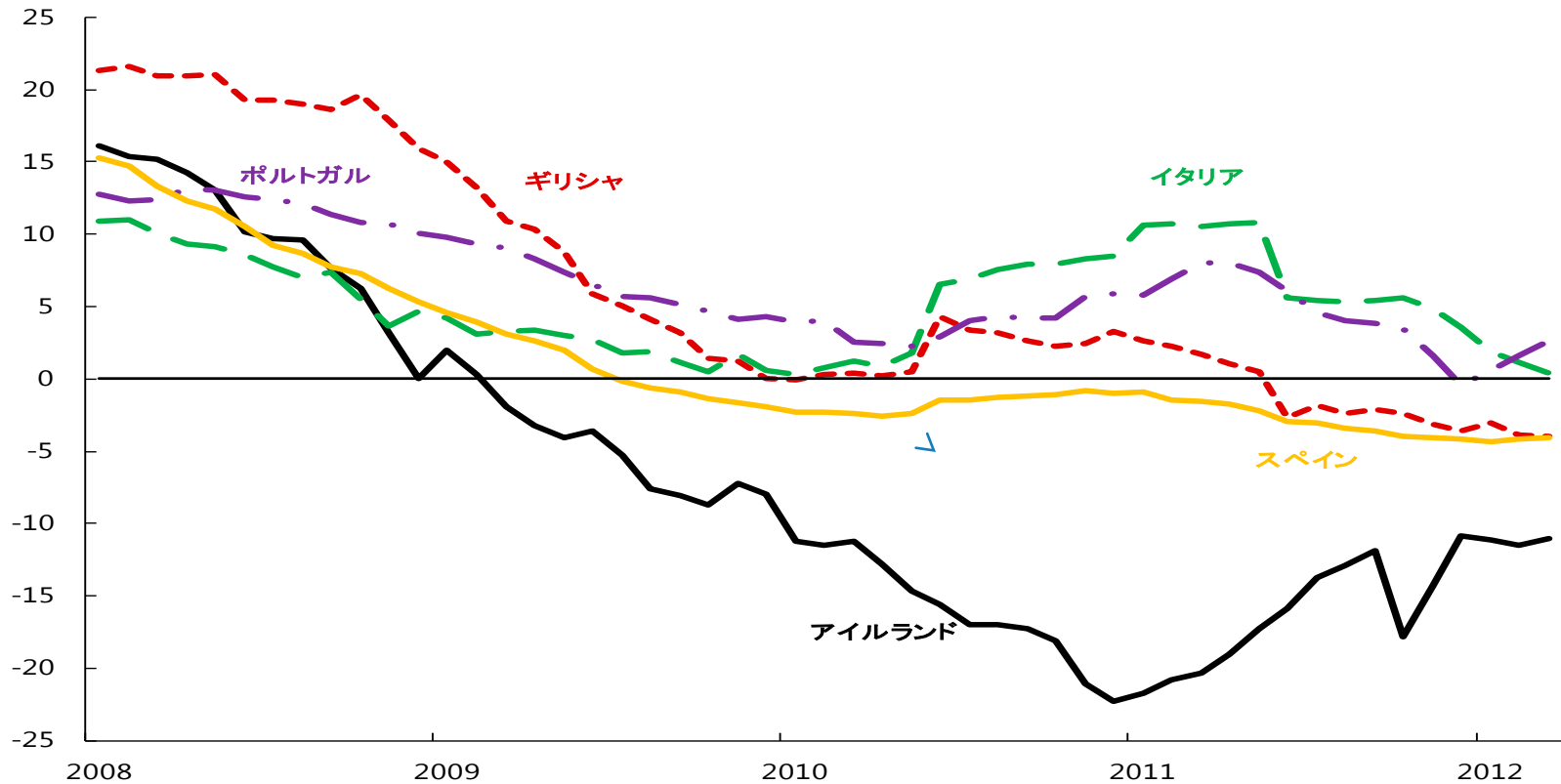
政府の信用
リスクの上昇



借換えリスク

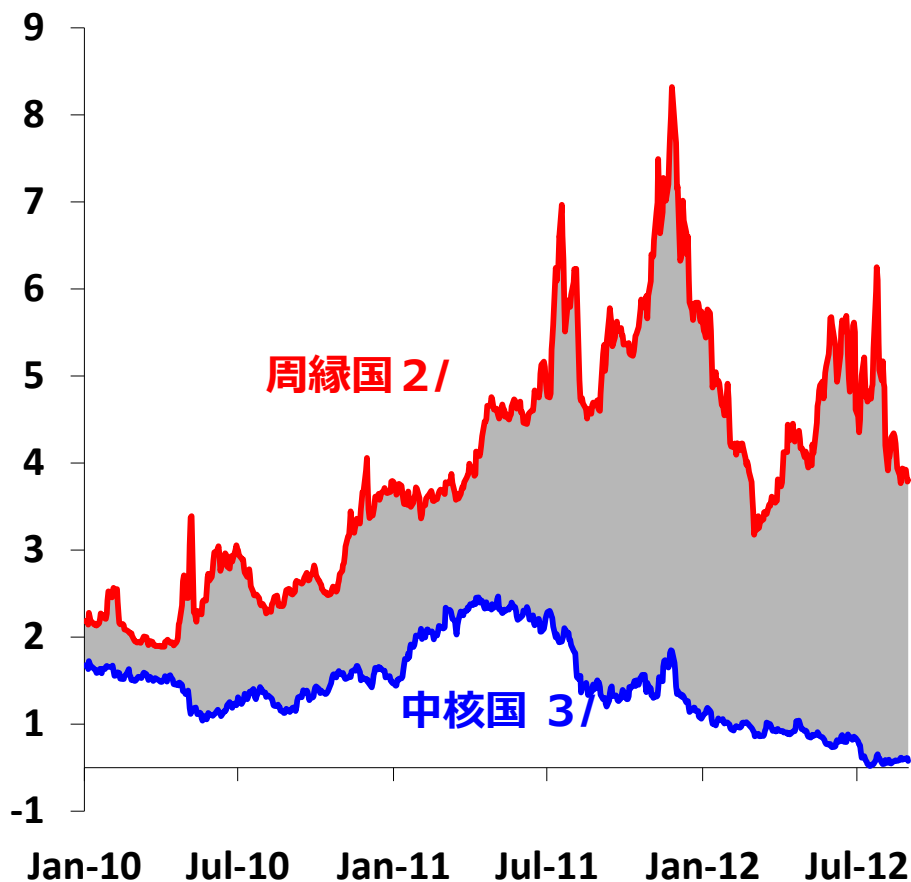
ユーロ圏：銀行のデレバレッジ

銀行貸出成長率 (年率、パーセント)

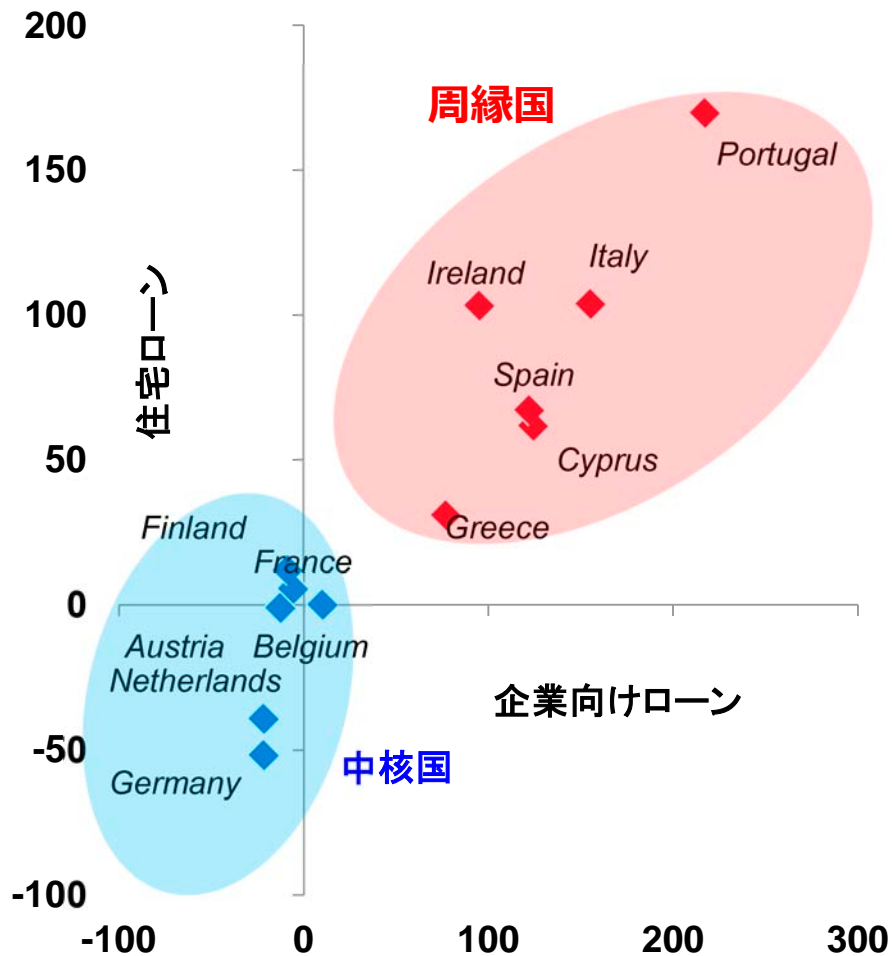


ユーロ圏：金融条件は二極化が進行

2年物国債利回り
(パーセント)



新規ローン金利の変動
(2009年12月以降、ベースポイント)



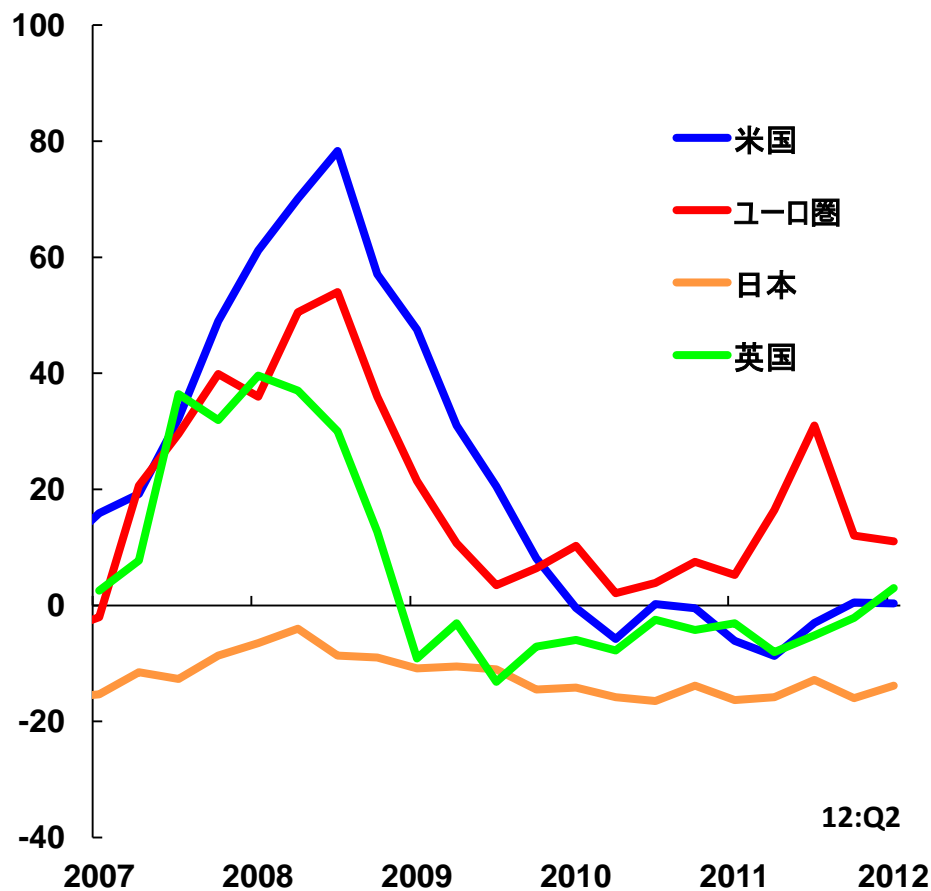
2/周縁国はギリシャ、アイルランド、イタリア、ポルトガル、スペイン等を指す

3/中核国は、ベルギー、フランス、ドイツ、オランダ、オーストリア等を指す

先進国：大幅なバランスシートの調整

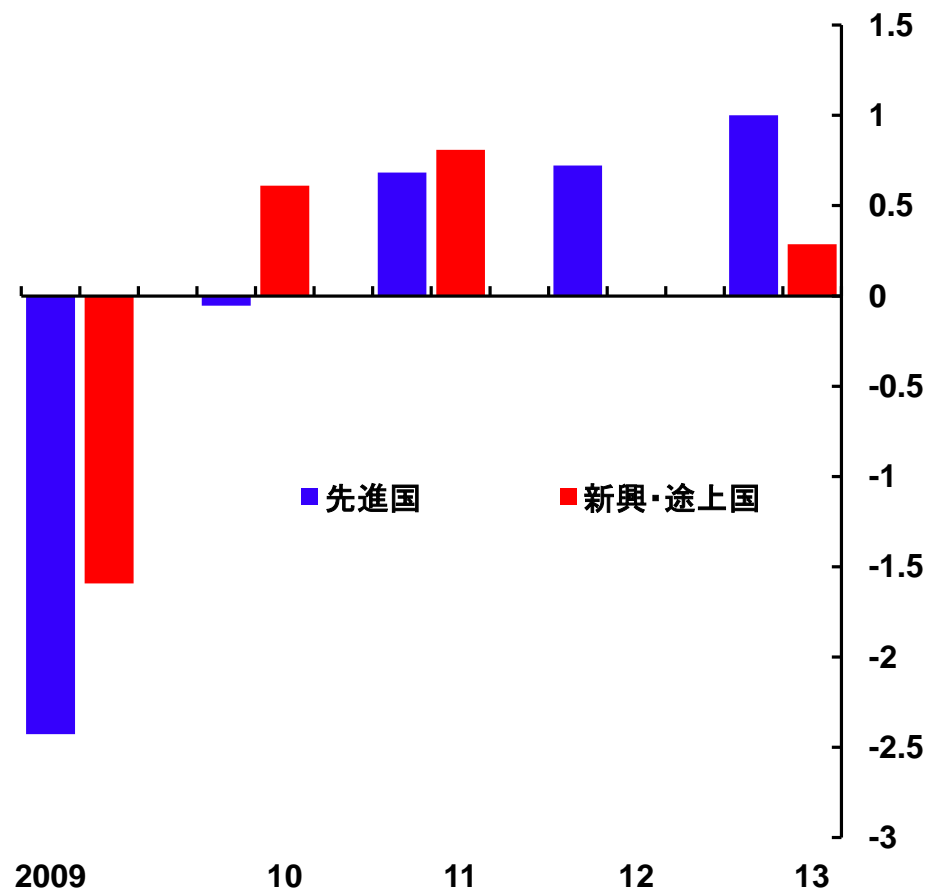
貸出条件

(国内の借り手から見た貸出水準の厳格化;
パーセントポイント)



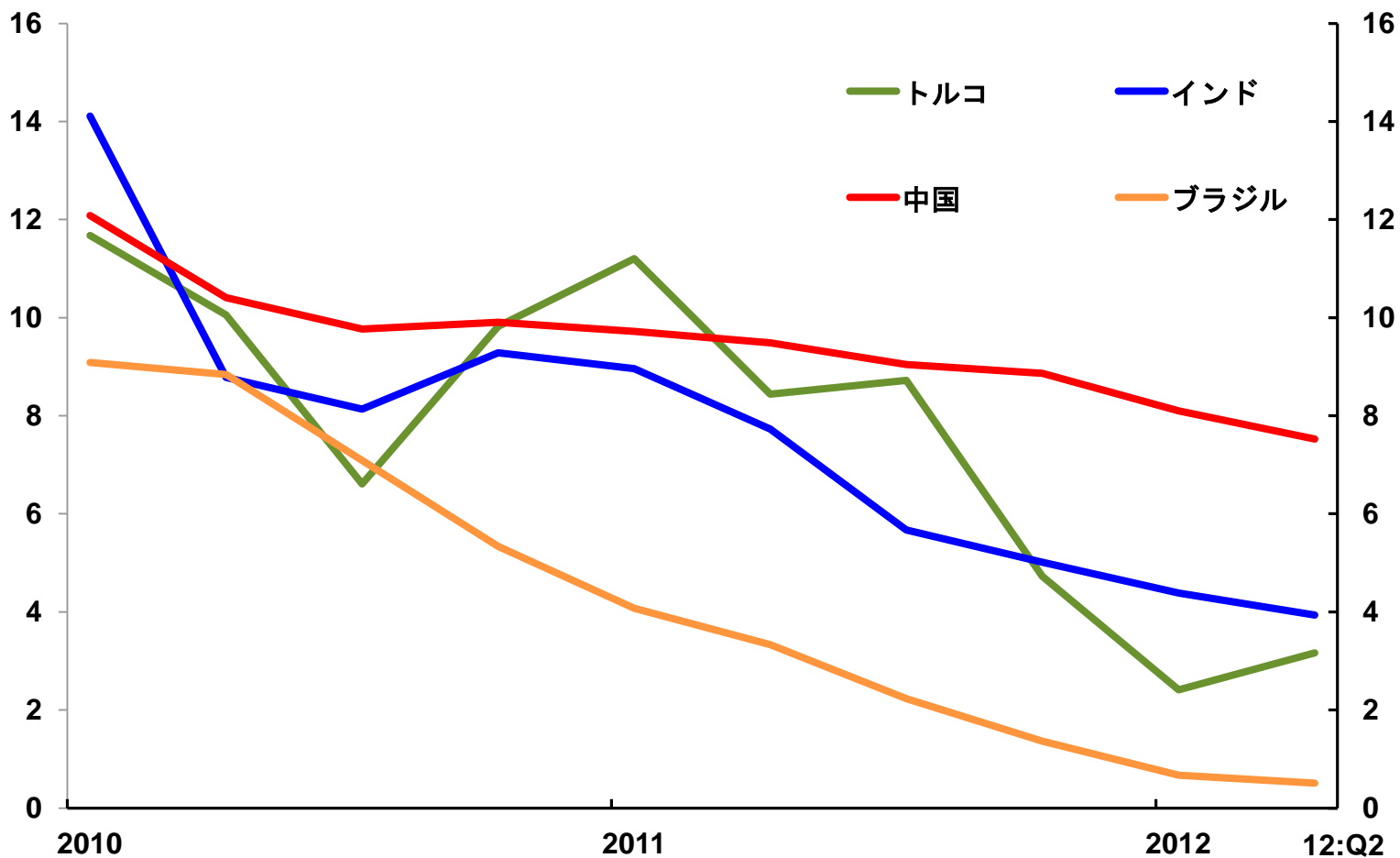
財政再建

(構造的財政収支の変化;
対GDP比、パーセント)



新興国：主要国での景気後退

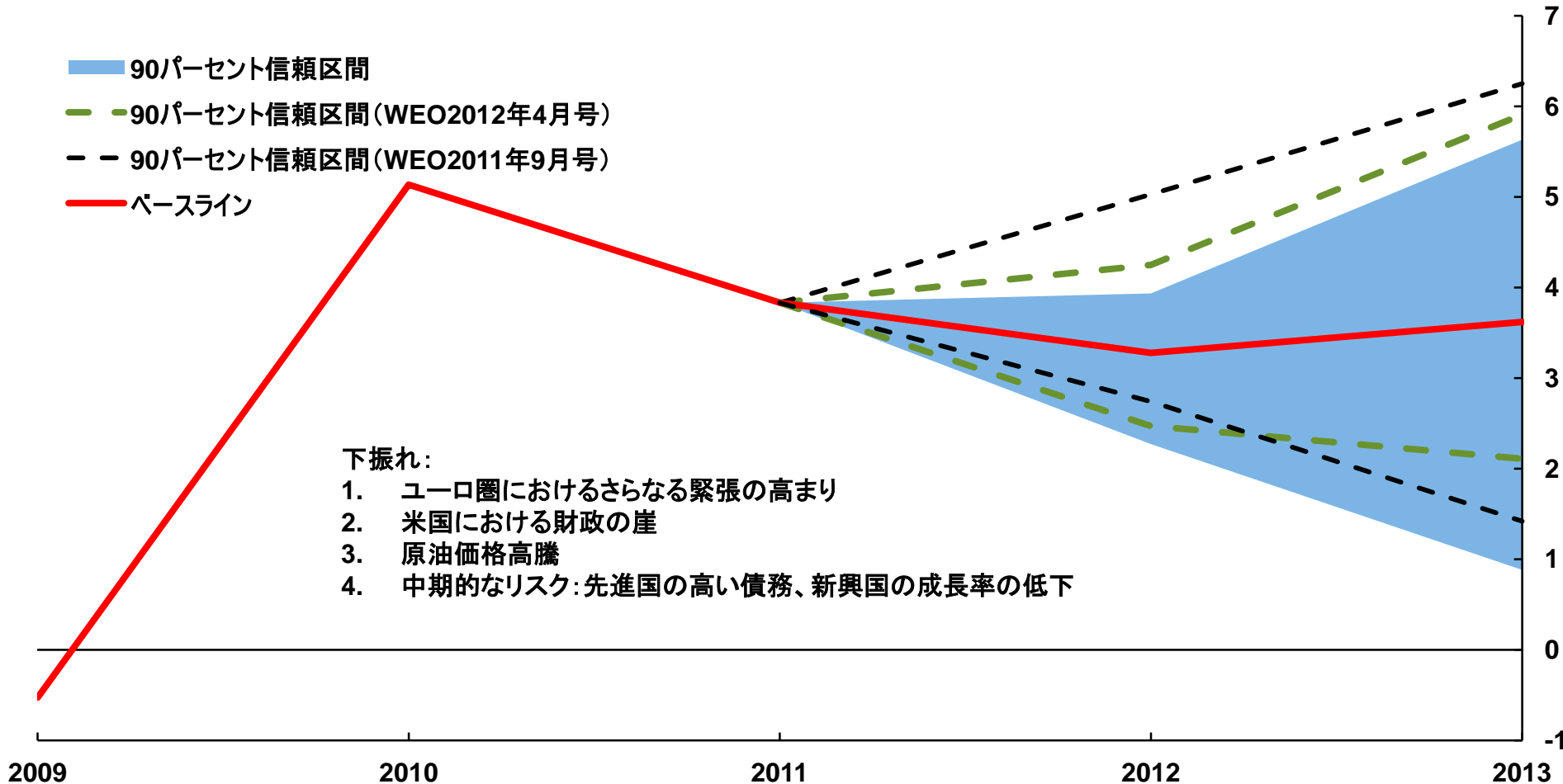
実質GDP成長率
(対前年比、パーセント)



深刻な下振れリスク

世界経済成長の下振れリスク

世界経済の成長見通し 1/
(パーセント変化率)

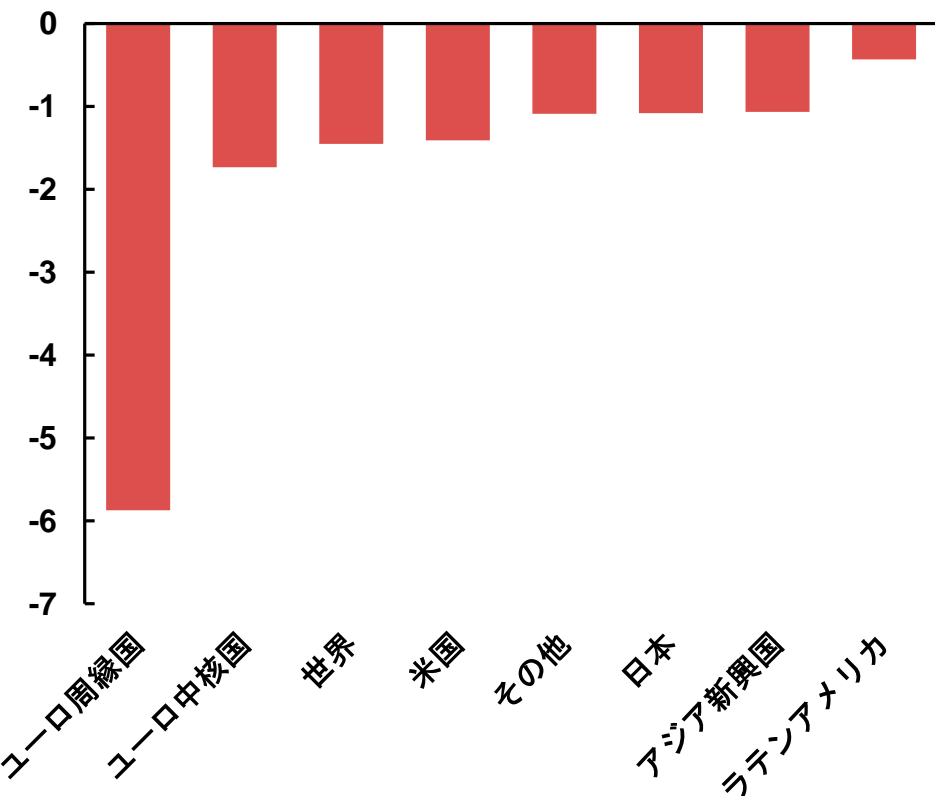


1/ 6分の1の確率で世界経済は深刻な景気後退を迎える (世界経済の成長率 < 2パーセント)

リスク:ユーロ圏危機の悪化と米国財政の崖

ユーロ圏下振れシナリオ 1/

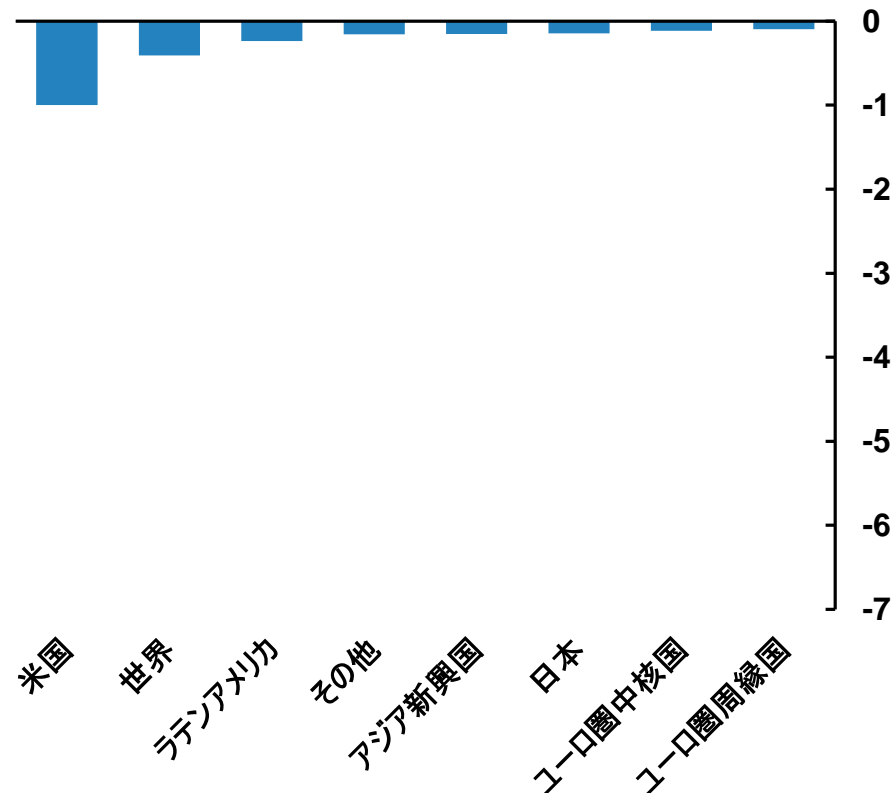
(生産減少;2013年ベースラインからの乖離、%)



1/ 公債、社債のスプレッドが上昇し、与信が縮小し、周縁国が財政再建を前倒しで取り組まなければならない状況を想定。

米国財政の崖 2/

(生産減少;2013年ベースラインからの乖離、%)



2/ 財政再建とコンフィデンス効果を前提としているが、金融調整は行われないものと家庭。

何をすべきか？



直近のリスクを取り除く

ユーロ圏

信頼の回復

米国

財政の崖の回避

・財政

- ・信頼たる中期財政健全化計画の確立（特に、米国と日本）
- ・成長維持のための緊急時対応策
 - － 自動安定化装置を稼働させる
 - － 可能であれば中期的な調整をスムーズに実施

金融

- ・金融緩和政策の維持

ベースライン シナリオ

- ・金融引き締め政策を中断、もしくはやや緩和
（インフレ懸念の高い国を除く）
- ・財政再建を継続（特にインド、ロシア、トルコ）

下振れ リスクへの 対応

- ・金融政策の緩和を進め、マクロプルーデンシャル政策を強化
- ・財政安定化装置を稼動
- ・必要に応じて中期成長戦略と整合性のある財政出動を実施（例 中国）



IMFの役割と危機への対応



今日の IMF

世界に広がる加盟国

188加盟国

非加盟国: キューバ、北朝鮮、アンドラ、モナコ、ナウル、リヒテンシュタイン

マンデート:
世界の経済および金融の安定

短期的な国際収支支援

貿易の拡大、高水準の雇用と所得の促進

多国間主義の中心

経済協力を推進

国連、世界銀行、WTO、ILOを補完

IMFと世銀の役割

IMF



- 国際金融の安定
- 為替レートの安定
- 国際金融協調促進
- 加盟国への融資

世銀



- 第二次大戦後の復興支援
- 長期経済開発支援
- インフラ整備、エネルギー、教育、
- 保険分野での融資・技術支援



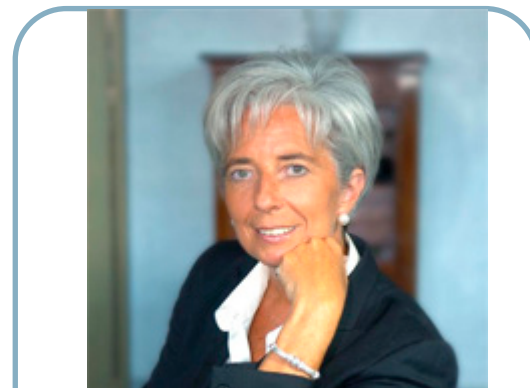
IMF の組織

本部ワシントンD.C., 駐在員事務所、地域事務所、
トレーニングセンター

マネジメント:専務理事(1名);筆頭副専務理事(1名)
副専務理事(3名)

スタッフ:2,600人(うち54 %がエコノミスト)

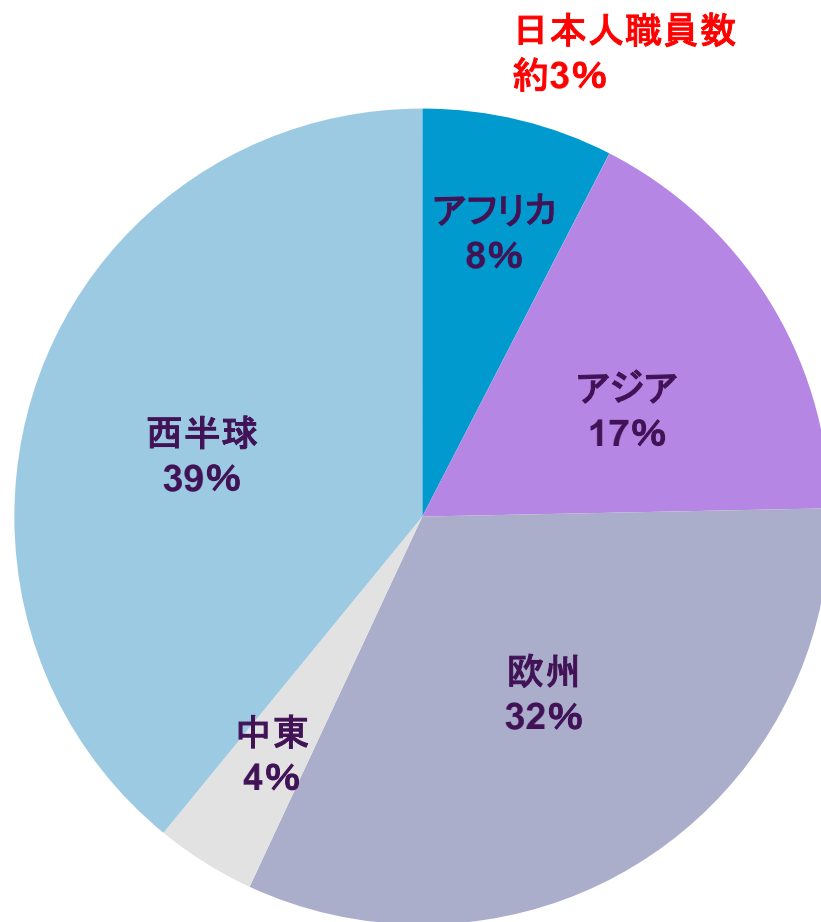
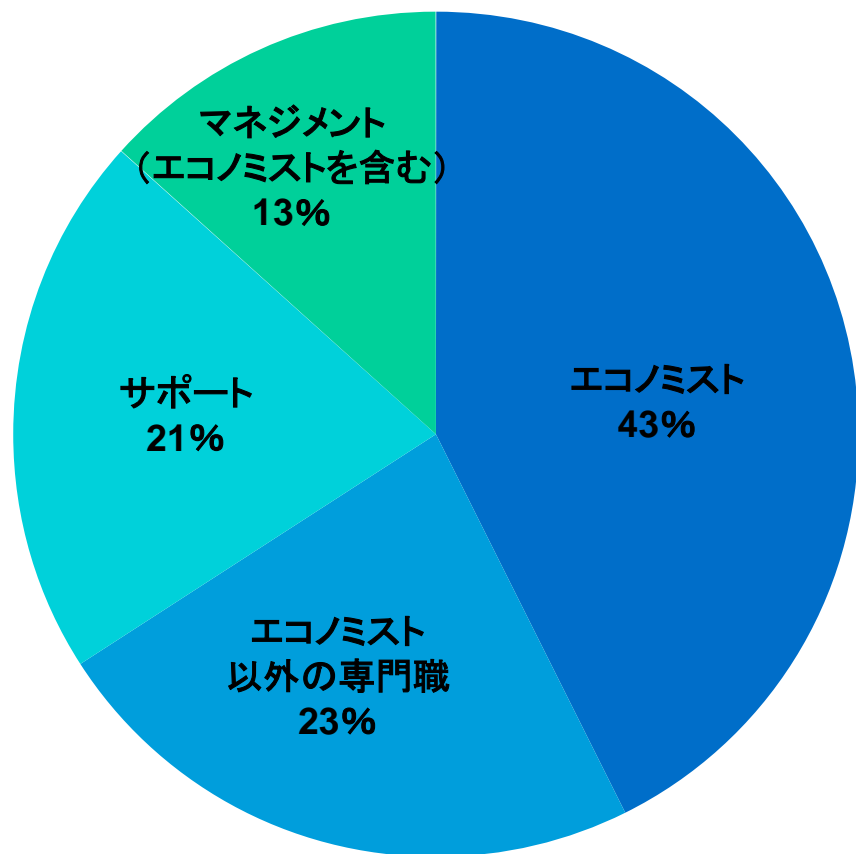
スタッフの出身国:154カ国



Christine Lagarde
Managing Director



IMFスタッフの構成





日本とIMF



- 1952年に加盟（2012年で加盟60周年）
- 現クォータ = 6.6%（第2位）
- 世界危機の際には、IMF財源強化に迅速に対応
- IMFの貧困国向け融資プログラム最大の拠出国
- IMFの技術支援活動の強力なパートナー



IMF 加盟国のクォータ(出資比率)1/

	Quota shares	Ranking
United States	17.7	1
Japan	6.6	2
Germany	6.1	3
France	4.5	4
United Kingdom	4.5	4
China	4.0	6
Italy	3.3	7
Saudi Arabia	2.9	8
Canada	2.7	9
Russia	2.5	10
Netherlands	2.2	12
Belgium	1.9	13
Brazil	1.8	14
Spain	1.7	15
Mexico	1.5	16
Switzerland	1.46	17
Korea	1.4	18
Australia	1.36	19



IMFの実際の業務





最近の主なIMF融資 1/

加盟国	発効日	融資コミット額 (10億SDR)
欧州主要加盟国		
ギリシャ (EFF)	2012年3月	23.8
ポルトガル (EFF)	2011年5月	23.7
ルーマニア (SBA)	2011年3月	3.1
ポーランド (FCL)	2011年1月	19.2
マケドニア (PLL)	2011年1月	0.4
アイルランド (EFF)	2010年12月	19.5
ウクライナ (SBA)	2010年7月	10.0
ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	2009年7月	1.0
その他の主要加盟国		
バングラデシュ (ECF)	2012年4月	0.6
コロンビア (FCL)	2011年5月	3.9
メキシコ (FCL)	2011年1月	47.3
ジャマイカ (SBA)	2010年2月	0.8
イラク (SBA)	2010年2月	2.9
スリランカ (SBA)	2009年7月	2.6

1/ 2012年11月時点。1SDR=1.52ドル(2012年11月19日)



IMFでの雇用機会



IMFでの雇用機会

長期:

- ❖ エコノミスト プログラム (EP)
- ❖ ミッドキャリア プログラム (中途採用)

短期:

- ❖ リサーチアシスタント プログラム (RAP)
- ❖ ファンドインターンシップ プログラム (FIP)

IMF採用ページ:

<http://www.imf.org/external/np/adm/rec/recruit.htm>



IMFエコノミストに要求される技能

分析力と多様な能力

計画・整理能力

順応性

コミュニケーション技術

対人および交渉能力



Japan-IMF 奨学金プログラム

- ❖ 海外でマクロ経済学博士号を目指す日本人を対象とした2年間の奨学金制度（日本政府が資金を提供）
- ❖ 全ての奨学生は、学業終了後、IMFの採用試験に応募することが求められる

<http://www.imf.org/external/oap/jpn/indexj.htm>



夏季インターンシップ プログラム

- ❖ IMFアジア太平洋地域事務所(OAP): 東京
- ❖ 期間: 7月から9月までの6週間~8週間
- ❖ 募集時期: 5月-6月
- ❖ 内容: 有給インターンシップ
- ❖ 職種: エコノミスト、広報(各1名)
- ❖ 応募資格
 - ▶ 大学院生(修士課程)
- ❖ 2011年OAPインターンシップ募集要項

<http://www.imf.org/external/oap/pdf/si2011j.pdf>

END

